

2011年11月17日

ソニーと世界基金が HIV/エイズ予防の行動変容プロジェクトでの パートナーシップを構築

スイス ジュネーブ — ソニー株式会社（以下、ソニー）と世界エイズ・結核・マラリア対策基金（以下、世界基金）は、途上国でのエイズ予防のための行動変容プロジェクトの実施におけるパートナーシップを構築したことを発表しました。ソニーは最新機材と映像作品を寄贈するほか、技術陣による機材取り扱いの指導を無償で提供します。一方、世界基金は、対策を最も必要とするコミュニティに支援を届けることができる現地組織とソニーが組めるよう両者の間を仲介します。世界基金は企業とのパートナーシップに力を入れてきましたが、ソニーとの連携は、物品の無償提供と専門職の社員による支援とを組み合わせたパートナーシップの初めてのケースです。

世界基金の仲介により、タンザニアにおける世界基金資金受入責任機関のひとつである NGO、African Medical and Research Foundation (AMREF) に対し、持ち運びが容易で屋外での使用に適した特別仕様の 150 インチの大型スクリーンやプロジェクター、音響機器などがソニーから寄贈され、AMREF は同国初となるパブリックビューイングを実施しました。

このパブリックビューイングは、屋外の特設会場で大型スクリーンに上映される映像作品を来場者が鑑賞できるイベントで、HIV 感染リスクが比較的高い若者層を主な対象にしています。公衆衛生に関する映像と、ソニー・ピクチャーズ エンタテインメントの映画などを併せて上映することで疾病予防の啓発をはかると同時に、会場で希望者に対して HIV 検査とカウンセリングも行います。

タンザニアでの初めてのパブリックビューイングは、11月5日から13日にかけて、首都ダル・エス・サラームのなかでも低所得地域であるテメケ地域のほか、タンガ、モシ、アルーシャの HIV 感染率が高い 4 都市で開催されました。特設会場では AMREF の主催で、ソニー・ピクチャーズの若者向け映画、エイズ予防啓発映像作品、サッカーの試合が上映され、期間中合計で 4,700 人以上が参加し、うち 2,482 人が HIV 検査を受けました。この成功は、テクノロジーとエンタテインメントによって、より多くの人へのアウトリーチと HIV 検査・カウンセリングの拡大が効率的にできることを示しています。

世界基金渉外・パートナーシップ局長のクリストフ・ベンは、「早期に適切な HIV 検

査とカウンセリングを提供することは高い予防効果があり、疾病の蔓延を防ぐために大変有効です。私たちはこの重要な取り組みにおいてソニーと協力できたことを喜ばしく思うとともに、同様のプログラムがタンザニア以外のその他の世界基金の援助対象国でも早期に実現することを希望しています」と述べています。

ソニー株式会社業務執行役員 SVP の神戸司郎氏は「ソニーはミレニアム開発目標 (MDGs) に貢献するための活動を継続的に行っています。この度、世界基金および AMREF の協力のもと実施した“パブリックビューイング・イン・タンザニア”が予想を上回る多くの人を集め、疾病蔓延防止への貢献が出来たことを喜ばしく思います。今後現地の人々の手によって継続的にプログラム実施が可能となり、能力開発面でも有用な支援となるよう活動を続けていきます。ソニーでは、引き続き多くの国や地域において、様々な社会課題に企業の視点から貢献することを目指してまいります」と述べています。

ソニーの技術陣は AMREF のスタッフに対して、映像・音声機材の取扱いやメンテナンス方法などの研修を行いました。AMREF は今後も、世界基金の支援による啓蒙プログラムの中でソニーから寄贈された機材を活用していきます。

AMREF は世界基金からの支援事業として、公的機関、民間企業、NGO、宗教組織、HIV 感染者グループといった主要なステークホルダーのキャンペーン強化と、組織間のコーディネーションをサポートし、エイズ対策の拡充を促進しています。

タンザニアの HIV 感染者は 100 万人、うち 45 万人が抗 HIV 治療を必要としています。現在、実際に治療へのアクセスがあるのは、そのうちの 25 万人にすぎません。

タンザニアにおけるパブリックビューイングおよびその他のソニーによる社会貢献活動の詳細は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.sony.co.jp/SonyInfo/csr/ForTheNextGeneration/contentslist/pvintza2011>

世界エイズ・結核・マラリア対策基金（世界基金）の概要

世界基金は三大感染症（エイズ、結核、マラリア）の予防と治療のための追加的資金を国際社会から調達し、途上国を支援することを目的とする国際的な資金提供機関です。世界基金は、援助国だけでなく、援助を受け入れる国、企業や民間財団、先進国と途上国の NGO、感染症とともに生きる当事者のグループなど、多くの人々の協力によって運営されており、こうした官民パートナーシップのアプローチは、保健分野の国際援助の新しい手法とされています。世界基金は受益国の主体性を尊重し、成果重視の支援を行うモデルであり、受益国の人々が自

らのニーズに基づいて実施するプログラムに対して、検証可能な成果の達成を条件に資金を提供しています。

2002 年の設立以来、世界基金は発展途上国のエイズ・結核・マラリア対策を支える主な資金源となっており、150 カ国の 600 以上のプログラムに対して、総額 224 億ドルの支援を承認しています。世界基金は二国間援助機関や他の多国間機関と緊密に協力し、これらの機関の感染症対策と補完関係を築いています。

本件に関するお問い合わせ先：

世界エイズ・結核・マラリア対策基金

パートナーシップ・オフィサー（企業担当） 細井麻衣

Tel: +41 58 791 1429

Fax: +41 58 791 1689

Email: Mai.Hosoi@theglobalfund.org